

サ テ

脳と心を健康にーサンテ溝上病院広報誌



vol.

15

Jan.2026



特集

新年のご挨拶



初日の出：吉野ヶ里歴史公園

新年のご挨拶



医療法人 同愛会
サンテ溝上病院



MIZOKAMI
MITSUHIKO

新年あけましておめでとうござい
ます。

2026年は午年を迎えます。

当院は2021年に新規スタート
し、脳卒中医療を中心に、何が地
域のため、患者さんのために必要
なのかを常に問い続け、挑戦して
まいりました。

おかげさまで、2025年は低侵
襲な血栓回収治療を行えるPSC
コア施設の認定をいただきました。

また、入院早期からの急性期リハ
ビリテーションの提供、脳卒中特
化型の通所リハビリテーション、
「ストリハ」の立ち上げ、そして
回復期病棟から自宅に退院された
患者さんへの訪問診療の開始な
ど、患者さんの人生を支える取り
組みを積み重ねております。

これらは、地域の皆様や関係機関
の皆様のご理解とご協力があつて
こそ実現できたものです。

少子高齢化や人口構成の変化な
ど、私たちが取り巻く環境は大き
く変化しております。それでもな
お、自分や家族が健康的に豊かな
時間を過ごせることは何事にも変
え難い幸せだと思えます。地域の
皆様が健康的に生活できるよう、
脳卒中などの人生の危機に対して
十分にサポートできるよう、本年
も前進してまいります。

佐賀の医療、そして日本の医療に
貢献したい。医療から地域を元氣
にしたい。その想いを胸に、職員
一同、本年も全力で取り組んでま
いります。本年も変わらぬご支
援、ご指導を賜りますよう、よろ
しくお願い申し上げます。

医療法人 同愛会サンテ溝上病院

院長 溝上泰一朗

午年 生まれの 職員による 今年の**抱負**



内科・循環器内科 部長
大江 健介

サンテ溝上病院に赴任して約一年が経ちました。とてもいい病院だなと実感しています。これから密な脳心連携のもとに、患者さんと家族の気持ちに添えるような、可能な限り最先端でハイレベルの医療を提供できるよう精進します。



内科・消化器内科 部長
村山 賢一郎

午年の勢いを力に変え、仕事では一歩先を見据えた行動を心がけます。責任を果たし、信頼される存在へと成長することを目標に、新たな挑戦にもスピード感と丁寧さを大切にしながら結果を出せる一年にしたいです。



理学療法士
江口

患者さんに寄り添い、技術と知識を磨いて成長できるように頑張ります。



理学療法士
村川

患者さんに寄り添い小さな進歩を大切に支える理学療法士を目指していきます。



作業療法士
林

患者さんの声を最優先に、機能改善と日常動作の質向上を目指します。



看護師
尾方

これまで積み重ねてきた経験を生かし、回復期にある患者さん一人ひとりの思いに寄り添いながら、リハビリスタッフをはじめとする多職種と連携し、安心して前向きに療養し、在宅復帰につなげられる看護を大切にしていきたいと思っています。



事務部長
中村

丙午は非常に強いエネルギーを持つといわれますが、今年の私はその火を『組織の活性化』と『次世代の育成』という二つの目的のために燃やしていきたいと考えています。

挑戦を楽しむ力



A

競技場での練習は月1回ほどなので、自宅で筋トレや基礎練習を行っています。無理をせず、毎日続けられる練習を心掛けています。

Q

普段の練習で意識していることは？

面白さがあります。工夫して投げる面白さがあります。

A

ターボジャブをどれだけ遠くに投げられるかを競う競技で、穂先にまっすぐ力を伝えないと飛びにくく、着地も穂先からでないと無効になります。

Q

ジャベリックスローの魅力とは？

高校時代にやり投をしていたので、その経験を活かせると思いつめました。

A

競技を始めたきっかけは？

Q

高校時代にやり投をしていたので、その経験を活かせると思いつめました。



Special INTERVIEW

坂本 萌

さかもと めぐみ

当院を退院後も通院しながらリハビリを続け、競技に取り組んでいる。

全障スポーツ初出場

ジャベリックスロー：1位

砲丸投：2位

競技歴：砲丸投/2ヶ月

ジャベリックスロー/8か月

A

パラスポーツは誰でも楽しめる競技がたくさんあります。興味のある方は、ぜひ体験会やイベントに参加してみてください。

Q

読者へ一言お願いします。

A

多くの選手と交流し、障害への理解の大切さを実感しました。まずは両競技で金メダル獲得、将来は日本記録に挑戦したいです。

Q

全障スポを振り返って、今後の目標は？

今回のインタビュにご協力いただき、ありがとうございます。日々のリハビリや競技に前向きに取り組まれる坂本さんの姿は、私たち職員にとっても励みになっています。

サンテ溝上病院は、これからも坂本さんの歩みを応援しています。



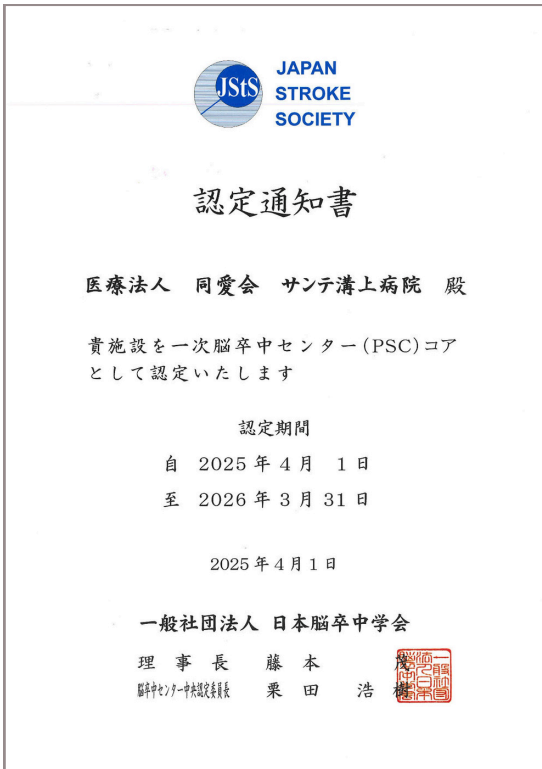
一次脳卒中センター（PSC）コア認定

当院はこれまで「一次脳卒中センター（PSC）」として日本脳卒中学会から認定されておりましたが、この度「一次脳卒中センター（PSC）コア施設」として認定されました。

PSCコアとは一次脳卒中センター（PSC）のうち、脳梗塞に対するrtPA静注療法に加え機械的血栓回収療法の治療実績や診療体制をもとに、機械的血栓回収療法が行うことができる「地域においてコア（中核）となるSC施設」です。

当院はPSCコア施設として、佐賀県では2番目に認定されました。

今後もより安全で質の高い脳卒中医療の提供に努め、地域の皆さまが豊かな時間を送れるよう病院一丸となって、励んでまいります。



健康セミナー開催

11月20日（木）、循誘校区社会福祉協議会主催による健康セミナーを、循誘公民館にて開催いたしました。当院の内科・循環器内科部長である大江健介が講師となり『血圧について考えよう』貴方の血圧大丈夫ですか？』をテーマにお話させていただきました。

参加者の皆さまからは多くの質問が寄せられ、健康への関心の高さがうかがえる有意義な時間となりました。

講演後には、当院の理学療法士とともに腰痛予防体操を行っていただきました。

当日は約50名の方にご参加いただき、盛況のうちに終了しました。

今後も地域の皆さまの豊かな時間を守る病院として、皆さまの健康維持・増進に役立つ取り組みを続けてまいります。



部署紹介 広報課

病院と地域をつなぐ窓口です

—— 病院の『今』と『想い』を届けます

広報課の仕事内容とは？

広報課は、病院の取り組みや日々の出来事を「わかりやすく」「親しみやすく」伝える役割を担っています。

広報誌の制作をはじめ、病院のリーフレットの作成、ホームページやSNS、院内掲示物などを通して、患者さんや地域の皆さまに情報をお届けしています。

また、院内の各部署と連携しながら、サンテ溝上病院らしさが伝わる表現を心がけています。

広報課の魅力は？

広報課の魅力は、「どう伝えたら伝わるか」を考え続けられるところです。

言葉やデザインの工夫ひとつで、病院がぐっと身近に感じてもらえることに、この仕事ならではの魅力があります。

私自身デザインの専門知識はありませんが、自分なりに調べ、学び、試行錯誤を重ねながら、より伝わりやすい表現やデザインを日々研究しています。



広報課主任

稲葉 美帆
Inaba Miho

2009年4月入職。

当初は看護部クラークとして看護部のデータ集計や様式9の作成などを主に担当。

2024年から事務部と看護部の兼任体制となり、広報課としての業務を拡充しています。

広報誌ができるまで

1 季節や院内の動きをもとに広報誌全体の構成を考えます

2 表紙イラストをイラストレーターさんに依頼 ※佐賀の名所を季節ごとに紹介しています

3 医師に特集記事を依頼 内容はお任せし、レイアウトを整えます

4 管理栄養士にレシピを依頼 ミニコラム編集と写真撮影を担当しています

5 研修会や院内の取り組みをニュース記事として掲載します

多くの方の協力を得て完成☆
院内や地域の皆さまへお届けします☆

材料(2人分)

- ・里芋...200~250 g
- ★コンソメ...小さじ1
- ★マヨネーズ...小さじ2
- ★片栗粉...大さじ2
- ・揚げ油...適量

作り方

1. 土を落とした里芋を皮ごと茹でる。
※串がスーッと通るまで
2. 粗熱が取れた里芋の皮をむく。
3. 厚手のビニール袋に2と★を入れ、手でもみ潰し、よく混ぜる。
4. フライパンに適量の油を入れ、180℃に温める。
5. ビニール袋の端を切り落とし、絞り落として揚げ焼きにする。

POINT

材料を混ぜ合わせる時に、青のりやカレー粉、粉チーズを入れてアレンジしても美味しいですよ♡



監修：管理栄養士
田中 智穂



1人分当たり
エネルギー：159cal
塩分：0.9 g

Fried Taro

旬の野菜でもう一品

もちもち 里芋つらや

里芋のネバネバは腸の応援団

里芋には、食物繊維やミネラルなど多くの栄養素が含まれています。里芋特有のネバネバには、「ガラクトタン」という栄養素が含まれています。これは食物繊維の一種で、水に溶けやすい「水溶性食物繊維」というものに当てはまります。

水溶性食物繊維は、その粘性により食べ過ぎ防止に効果があるとされており、糖質の吸収をゆるやかにするため血糖値の上昇も抑えてくれます。

また、ガラクトタンには、腸内環境を整える整腸作用があります。便秘に悩む人には、ぜひ取り入れていただきたい食材です。

外来担当医

		月	火	水	木	金	土
1	午前	内科 大江	整形外科(脊椎) 吉原	整形外科 佐々木	整形外科 野田	内科 村山	整形外科 矢野 (第3・5土曜) 要予約
	午後	内科 大江	整形外科(脊椎) 吉原			内科 村山	午後休診
2	午前	内科 佐藤	内科 村山	内科 佐藤	内科 佐藤	内科 大江	内科 渡部
	午後	内科 佐藤	内科 村山	内科 佐藤	内科 佐藤	内科 大江	午後休診
3	午前	脳外 尤	血管外科 奈田	内科 村山	内科 大江	血管外科 奈田	血管外科 奈田
	午後	脳内 田中	血管外科 奈田		内科 大江	血管外科 奈田	午後休診
4	午前	脳外 溝上	脳内 田中	脳外 溝上	脳外 尤	脳血 上床	脳 交代制
	午後	脳外 上床	脳内 田中	脳外 溝上	脳外 尤	脳血 上床	午後休診
5	午前	健診 村山	内科 大江	健診 古川	脳内 田中	健診 大江	内科 村山
	午後	健診 村山	内科 大江	健診 古川	脳内 田中	健診 大江	午後休診
6	午前	脳外 上床	脳外 溝上	脳血 上床	脳外 溝上	脳外(脊椎) 劉	
	午後						午後休診

- ◆診療時間 月曜～金曜 午前 09:00～13:00
午後 14:00～18:00
土曜 午前 09:00～13:00
日曜・祝日 休診

◆診療科目

脳神経外科/脳血管内科/脳神経内科/内科(循環器・消化器)
血管外科(外科)/整形外科/リハビリテーション科

◆病床数

総数75床(一般病床25床 回復期リハビリテーション病床50床)



サンテ溝上病院

〒840-0811 佐賀市大財1丁目6-60
TEL. 0952-24-5251
FAX. 0952-24-5261



当院
ホームページ

SNSもご覧ください >>>



Instagram



Facebook



YouTube